

所属・氏名（ 看護学部 看護学科 氏名：三味 祥子 ）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (報告・発表)	共著	2020.9.5 ～9.14	第 30 回日本看護学 教育学会学術集会 (Web 開催)	看護学士課程教育に求められるコアコンピ テンシーの一つに「援助的関係を形成する能力」 があり、その教育内容としてコミュニケーション の原則や技術を身につける必要性が示さ れている。そこで、1 年生のコミュニケーシ ョンの演習にピアラーニングを導入し、ピア サポーターとして取り組んだ 2 年生の学習効 果について明らかにした。 三味祥子, 岡本 亜耶子, 杉野 美和, 二井矢 清香
2 (報告・発表)	共著	2020.9.5 ～9.14	第 30 回日本看護学 教育学会学術集会 (Web 開催)	看護が求めるコンピテンシーのひとつに「援 助的関係を形成する能力」がある。本研究は、 先輩－後輩関係から学ぶピアラーニングに注 目しその教育効果を明らかにした。 二井矢 清香, 杉野 美和, 岡本 亜耶子, 三味 祥子
3 (報告・発表)	共著	2020.12.1 ～12.25	第 40 回日本看護科 学学会学術集会 (Web 開催)	日本の看護基礎教育では、援助的関係に関す るカリキュラムが講義→演習→実習という一 連の過程で構成されている。本研究では、講 義→演習→実習の学習過程を通して援助的関 係がどのように理解されていくのか、その思 考の変化を J. Dewey のコミュニケーション論 を視点として明らかにした。 岡本亜耶子, 二井矢清香, 鍵浦文子, 杉野美 和, 三味祥子
4 (報告・発表)	共著	2020.12.1 ～12.25	第 40 回日本看護科 学学会学術集会 (Web 開催)	日本では、核家族化や IT 化によるコミュニ ケーションスキルの低下が問題視され、患者との コミュニケーション力の向上は、日本の看護 基礎教育において重要な課題となっている。 本研究では、コミュニケーションの教授法の 示唆を得るために、4 年制看護大学に在籍す る 1 年生がロールプレイを通して学習した看 護におけるコミュニケーションの特徴につい て明らかにした。 杉野美和, 鍵浦文子, 岡本亜耶子, 三味祥子, 二井矢清香